

第5回 留萌市地方創生協議会 議事概要

【日時】 平成27年10月27日(火) 16:30~17:15

【場所】 市役所 3階 市議会第2委員会室

【出席者】 委員：対馬委員、山口委員、稲垣委員、宮井委員、西澤委員、村上委員、米倉委員、高橋委員、
田中委員

代理：森谷代理委員(北海道銀行)

市：高橋市長、中西副市長、麻林教育長、早川地域振興部長、
高橋政策調整課長、江川政策調整課主査

【主な内容】

◆市長あいさつ

◆概要説明

① 留萌市総合戦略(素案)及び(案)について

◆意見交換

【市長あいさつ】

- ・ 今回の総合戦略については、限られた時間の中ではあるが、回を重ねご出席をいただいている。
- ・ 計画を共有、共感しながら、責任をそれぞれの立場で果たしていただく、大きな目標に向かって、同じ目線で認識を持つことが何よりも重要だと思っている。
- ・ ご意見をいただきながら取り組みを進めていきたい。

【① 留萌市総合戦略(素案)及び(案)について】

【意見交換】

- ・ 健康・賑わい留萌ブランド戦略の「留萌ブランド」とは、何を指すのか。また、体験交流人口の拡大は、交流人口の拡大を意味するような言葉だが、内容は社会教育や芸術文化、スポーツを地域で進めるというような感じに受け止められるのではないか。

⇒ 大きく2つの視点でブランドと位置付けている。

1つは、コホートの取り組み、健康の駅、連携の中で、健康づくりというブランド。

もう一つは、上乘せ分でも申請している音楽合宿誘致、単に合宿誘致ではなく、特色を持った中での交流人口の拡大。

「健康」と「交流」を、留萌らしい、留萌ブランドとして、特色をもって進めたい。

- ・ 広い意味での「ブランド」として理解した。ブランドは商品的なものをイメージしてしまう。健康や医療などへのブランドとしてはとらえにくいのが、コホート研究や健康の駅はある意味ブランドとして取り上げていこうという意味であれば了解する。

-
-
- 健康・賑わい留萌ブランド戦略の数値目標、健康をキーワードとした企業連携研究に参加する市民の割合いで平成 27 年度に 100%。検証の基礎となる数値であるが、分かり難いのではないかと。

⇒ コホート研究には、市民参加があって初めて成り立つ。現在も企業等が希望する人数を満たしているが、今後も維持していくという意味。

- 既に 100%。達成しているものを目標とすることは、検証しにくいのではないかと。

⇒ 意識啓発なりを続けていかなければ、減少していくと思われる。留萌の健康ブランドとして啓発しながら 100%を維持していく意味。

- K P I の目標値、5 年間の機関で、現状と比較し高い目標が存在する。はたして実行できるのか、もっと長いスパンであれば可能かもしれないが、5 年間で達成できるのか。現実味のある目標とすべきではないか。あまり低いのもいかがとは思いますが。

⇒ 第 5 次総合計画の目標値でもある。来年度の第 6 次総合計画策定に向け、動き出す。毎年度の総合戦略の検証と第 6 次総合計画の策定、第 5 次総合計画の検証と合わせ、必要な見直しを行っていく。

- 特に商品販売額である。368 億のものが 813.8 億、あまりに乖離しており、根拠があればいいが、普通では考えられない数値ではないか。満足度は努力次第で可能かもしれないが、商品販売では難しいのではないかと。

⇒ 本日の資料 K P I の設定の資料に、総合計画の目標値、これまでの推移も含め掲載している。商品販売額については、商業統計を基としており、毎年の実績とはなっていない。H24 統計で 368 億円であったが、H26 統計では 500.2 億円まで回復している。その状況を判断し、総合計画の目標値を採用している。

- 実績値が変動なく続いている年があるが、何を基にしているのか。

⇒ 商業統計等、毎年度の統計ではない。調査が行われない年は、その以前の数値としている。

- 統計調査が行われていない時は、数値を入れない方が良いのではないかと。

⇒ この資料は、検討のための資料であり、今後の資料作成については、検討する。

- 検証の際に、K P I は問われる可能性がある。

北海道の総合戦略は、公表予定にしている。検証の作業の際には、この数値が問われる。

⇒ 検証を行う際には、考えを統一して示していきたい。根拠となる資料や年度など明らかにしていく。

- 魅力・やりがい留萌地域経済戦略の数値目標で、製造品出荷額等と産業分類別総所得どちらも現状値の維持の目標であるが表現が異なる

⇒ 製造品出荷額等の後に「の維持」を追加する。

【次回会議等】

- ・ 本日議会にも説明させていただいた。本日の意見を参考に庁内決定を経て策定となる。
 - ・ 先行型上乘せ分タイプⅠとⅡを国に申請し、本日タイプⅠの不採択の通知が来た。タイプⅡはまだ結果が来ていないが、その結果を受けて開催したいと考えている。また、現在先行型で進めている農業プロジェクトの視察等も検討している。
 - ・ あらためて日程調整させていただき、ご連絡差し上げる。
-
-